

**公共工事の品確法に則り、週休2日の確保に取り組める環境整備や
i-construction の更なる拡大、円滑な施工体制の確保に取り組める環境の充
実等を図る観点から、最新の実態を踏まえ、積算基準等の改定が行われます。**

(1) 働き方改革に取り組める環境整備

<工事>

・ 週休2日工事における間接工事費等の補正

⇒週休2日の実現に向けた環境整備として、現場閉所の状況に応じた労務費、機械経費（賃料）、共通仮設費、現場管理費の補正係数を継続

⇒交替制モデル工事における週休2日の実現に向けた環境整備として、技術者、技能労働者の休日確保の状況に応じた労務費、現場管理費の補正係数を継続

(2) i-construction（建設生産性革命）の更なる拡大

<工事>

・ 小規模土工に対応した ICT 実施要領等の策定

⇒ICT 技術の活用により生産性向上を図るため、「土工・床掘工・小規模土工・法面工」における ICT 施工の適用を拡大

・ 3次元起工測量及び3次元設計データ作成費用見積り参考資料の改定

⇒ICT 施工に伴う3次元起工測量、3次元設計データ作成の積算について、原則として見積徴収による積上げとしているが、見積りの妥当性を判断するにあたり参考となる見積り参考資料を令和2年度に作成しており、施工現場の実態にあわせ、見積り参考資料の算定式を改定

<業務>

・ 3次元点群測量の標準歩掛の新規制定

⇒ICT 技術のより一層の活用を図るため、UAV レーザを用いた3次元測量点群測量の歩掛を新規制定

(3) 円滑な施工体制の確保

<工事>

・ 少雪時における除雪工事の積算（精算時）の試行

⇒道路除雪工において、令和3年12月から、少雪時においても固定的に発生する経費を計上可能な積算方法の試行を開始

・ 一般管理費等率の改定

⇒最新の当社経費の実態を反映し、一般管理費等率を改定

・鋼橋積算基準の改定

⇒鋼橋製作工の間接工事費率や材料費について、経費等の実態を踏まえ改定するとともに、桁輸送費について、燃料費などの輸送費用の実態を踏まえ、改定

・土木工事標準歩掛

⇒新規制定【3工種】

⇒日当たり施工量、労務、資機材等の変動により改定を行った工種【6工種】

・施工パッケージ関係

⇒新規制定【2工種】

⇒適用範囲の拡大【1工種】

⇒日当り施工量、労務、資機材等の改定を行った工種【13工種】

・電気通信

⇒新規制定【1工種】

・機械設備

⇒歩掛改定【1工種】

⇒工事の一般管理費等率の改定

⇒点検・整備の共通仮設費の改定

・建設機械等損料

⇒実態調査を踏まえ、建設機械等損料算定表を改定

<業務>

・設計業務等標準歩掛

⇒新規制定【3項目】

⇒改定した歩掛【4項目】

詳細につきましては、下記【参考リンク】よりご確認ください。

【参考リンク】

令和4年度 国土交通省土木工事・業務の積算基準等の改定”

～公共事業の働き方改革や生産性向上を推進するための環境整備に取り組みます～”

https://www.mlit.go.jp/report/press/kanbo08_hh_000871.html

https://www.mlit.go.jp/sogoseisaku/constplan/sosei_constplan_tk_000024.html

国土交通省 機械設備工事積算基準 “令和4年度版（対比表）”

http://www.mlit.go.jp/sogoseisaku/constplan/sosei_constplan_tk_000023.html

土木請負工事工事費積算基準（電気通信編）の改定概要（令和4年2月）

<https://www.mlit.go.jp/tec/it/denki/densekisankijun.html>

国土交通省 設計業務等標準積算基準書および同（参考資料） “令和4年度”

http://www.mlit.go.jp/tec/gyoumu_sekisan.html